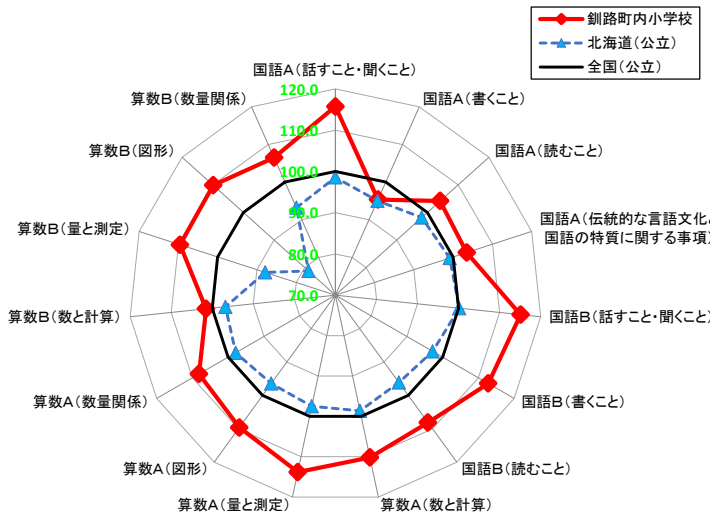


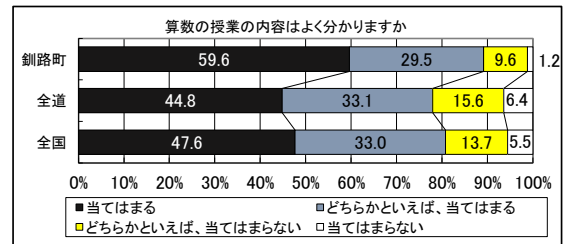
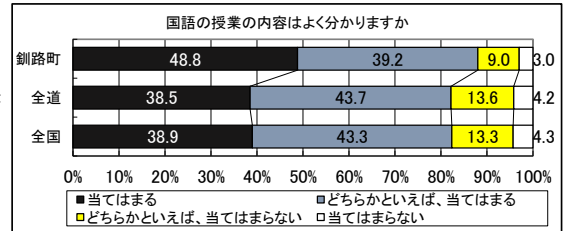
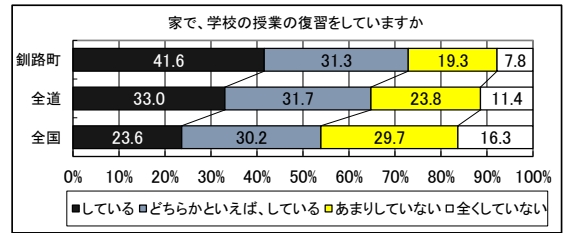
■釧路町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:166人)

【教科全体の状況】

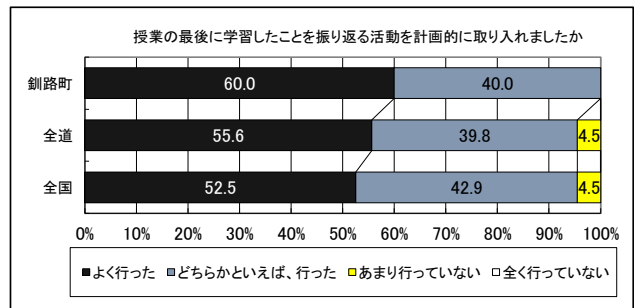
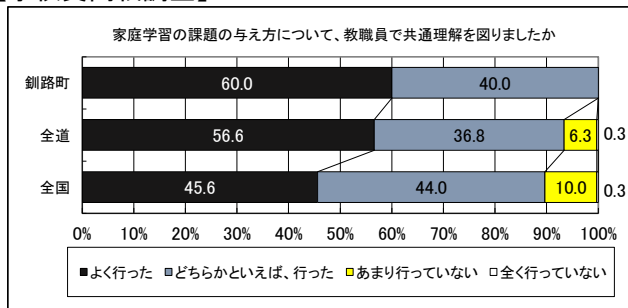
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図り取り組んだことにより、児童に家庭で学校の授業の復習を行う習慣が身に付き、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語、算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行ったことにより、児童は、国語、算数の授業の内容がよく分かるようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

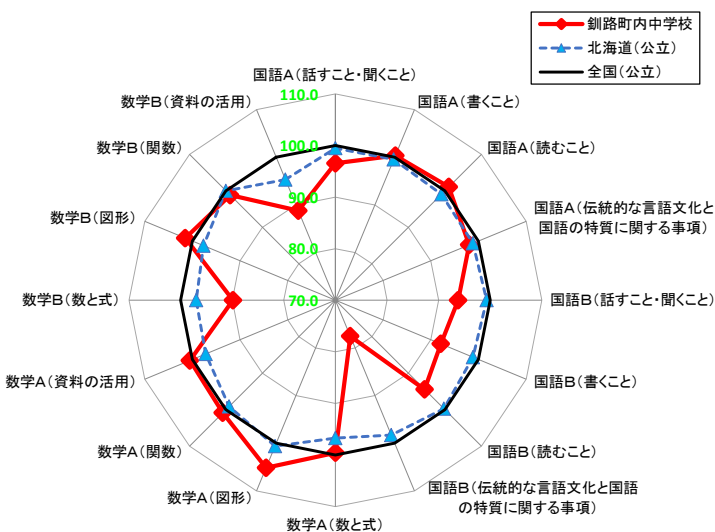
【釧路町の学力向上策】

- ◎ 望ましい生活習慣の確立を目指し、家庭との連携を図った「アウトメディアプロジェクト」「生活リズムチェックシート」の取組の推進
- ◎ 学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組

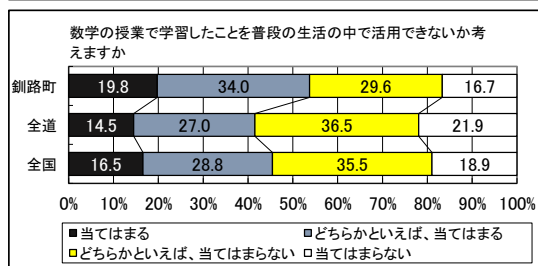
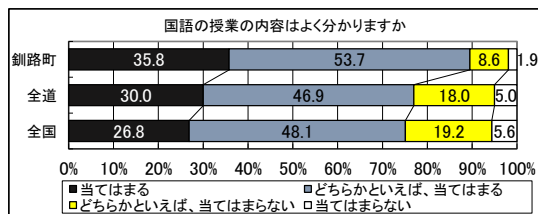
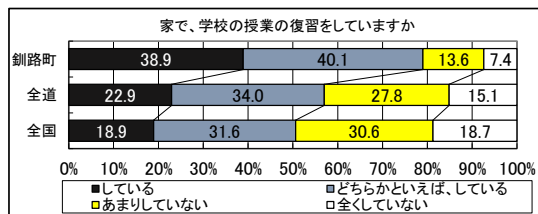
■釧路町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:162人)

【教科全体の状況】

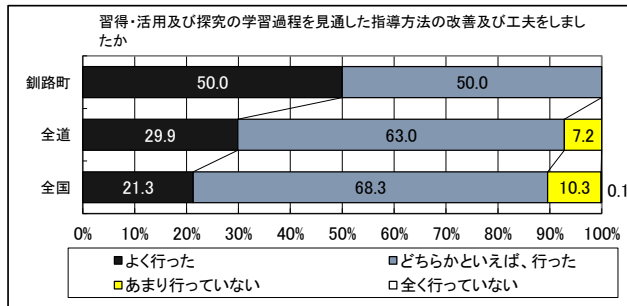
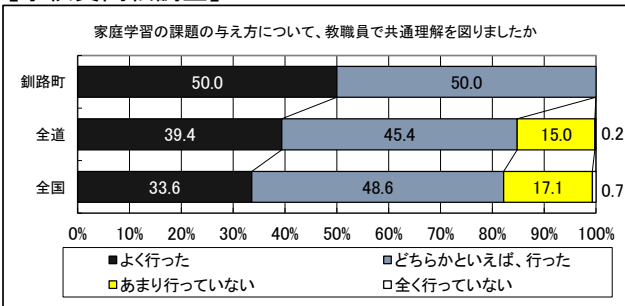
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」「関数」「資料の活用」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図り取り組んだことにより、生徒に家庭で学校の授業の復習をする習慣が身に付き、基礎的・基本的な事項の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、生徒は、授業の内容がよく分かるようになり、学習したことを普段の生活の中で活用しようとするようになったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【釧路町の学力向上策】

- ◎ 望ましい生活習慣の確立を目指し、家庭との連携を図った「アウトメディアプロジェクト」「生活リズムチェックシート」の取組の推進
- ◎ 学校が組織として総合力を高め、教育活動を行う「学校力向上」の取組の推進
- ◎ 教職員一人一人の指導力の向上を図るための「教師力向上研修会」「学力向上サポートセミナー」などの取組の充実
- ◎ 小中が連携した「地域連携研修」「教務担当者会議」「研修担当交流会」などを開催し、9年間を見通した指導方法や指導体制の工夫・改善の取組